



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場会社名 三井松島産業株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 1518 URL <http://www.mitsui-matsushima.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 天野 常雄
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 常務執行役員 経理部長 (氏名) 野元 敏博 (TEL) 092 (771) 2171
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (2017年3月期第1四半期決算説明資料)
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	11,438	△22.4	△234	—	△436	—	△572	—
28年3月期第1四半期	14,736	△9.3	178	—	515	—	380	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △1,252百万円(—%) 28年3月期第1四半期 △993百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△4.13	—
28年3月期第1四半期	2.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	52,671	31,083	59.0
28年3月期	55,281	32,891	59.5

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 31,073百万円 28年3月期 32,883百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	4.00	4.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	51,000	△12.9	100	△90.1	200	△85.5	100	△93.4	7.21

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、平成28年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施する予定であるため、平成29年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益は0円72銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー 社 (社名) ー 、 除外 ー 社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に該当する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期1Q	138,677,572株	28年3月期	138,677,572株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	29,549株	28年3月期	29,033株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期1Q	138,648,410株	28年3月期1Q	138,649,121株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は平成28年6月24日開催の第160回定時株主総会において、平成28年10月1日を効力発生日として、株式併合について承認可決され、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施することとしております。併せて同日付で単元株式数の変更 (1,000株から100株への変更) を実施する予定です。なお、株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期の連結業績予想は以下のとおりです。
 - ・平成29年3月期の連結業績予想
 - 1株当たり当期純利益
 - 通期 0円72銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

		前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額
売上高	①エネルギー	11,587	7,079	△4,507
	②生活関連	2,631	3,882	1,251
	③その他	482	441	△40
	調整額	34	34	0
	合計	14,736	11,438	△3,297
営業 損失 (△) 又は 利益	①エネルギー	387	△380	△768
	②生活関連	130	417	287
	③その他	4	5	1
	調整額	△343	△276	67
	合計	178	△234	△412
営業外収益		386	115	△271
営業外費用		49	317	268
経常利益又は損失(△)		515	△436	△952
特別利益		147	134	△12
特別損失		137	320	182
税金等調整前四半期純利益 又は純損失(△)		525	△622	△1,147
法人税等合計		142	△52	△194
四半期純利益又は純損失(△)		382	△570	△953
非支配株主に帰属する四半期純利益		2	2	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は純損失(△)		380	△572	△953

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、エネルギー事業における石炭価格の下落及び石炭販売数量の減少などにより、売上高は114億38百万円と前年同期比32億97百万円(22.4%)の減収となり、2億34百万円の営業損失(前年同期は1億78百万円の営業利益)となりました。

また、営業外費用に為替差損2億62百万円を計上したことなどにより4億36百万円の経常損失(前年同期は5億15百万円の経常利益)となり、特別損失に災害による損失(平成28年熊本地震)1億95百万円を計上したことなどにより、5億72百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失(前年同期は3億80百万円の四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、売上高については、セグメント間取引消去前の金額によっております。

(報告セグメントの区分方法の変更)

当社グループは、「石炭生産事業における自社権益炭拡大と収益性向上」「新規事業の育成による収益の安定化・多角化」の2つの成長戦略に則り実施したM&A等により子会社が増加してきたことを契機に、セグメント区分の見直しを行いました。

この結果、エネルギー事業を中心とするエネルギー事業本部、並びにM&A等により新たに加わった子会社を中心とする生活関連事業本部の2事業本部制による経営管理体制をより適正に表示するため、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを変更することといたしました。変更の内容は以下のとおりです。

従来の「石炭販売事業」、「石炭生産事業」、「再生可能エネルギー事業」及び従来「その他」の区分に含めていた一部の事業を「エネルギー事業」セグメントとし、従来の「飲食用資材事業」、「衣料品事業」、「施設運営受託事業」及び従来「その他」の区分に含めていた一部の事業を「生活関連事業」セグメントといたしました。また、従来の「不動産事業」及び「港湾事業」は報告セグメントに含まれない事業セグメントとし、従来「不動産事

業」セグメントに帰属する資産としていた遊休不動産について、全社資産として取り扱うことといたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成しております。

①エネルギー事業

当セグメントには、石炭販売分野、石炭生産分野及び再生可能エネルギー分野が含まれております。

売上高は、石炭販売分野及び石炭生産分野における石炭価格の下落並びに販売数量の減少などにより70億79百万円と前年同期比45億7百万円(38.9%)の減収となりました。セグメント損益につきましては、石炭生産分野における上記売上高の減少要因に加え、リデル炭鉱の操業コストの増加などにより3億80百万円のセグメント損失(前年同期は3億87百万円のセグメント利益)となりました。

②生活関連事業

当セグメントには、飲食用資材分野、衣料品分野、施設運営受託分野及び介護分野が含まれております。

売上高は、衣料品分野の花菱縫製(株)を前第3四半期連結会計期間において子会社化したことに伴い、38億82百万円と前年同期比12億51百万円(47.5%)の増収となり、セグメント利益は、のれん償却費77百万円を計上したものの4億17百万円と前年同期比2億87百万円(220.7%)の増益となりました。

なお、飲食用資材分野の日本ストロー(株)において、「平成28年熊本地震」により同社熊本工場の一部に被害を受けておりましたが、懸命な復旧作業に努めた結果、現在では通常生産を行っております。

③その他

当区分には、不動産事業及び港湾事業等が含まれております。

売上高は、4億41百万円と前年同期比40百万円(8.5%)の減収となりましたが、セグメント利益は5百万円と前年同期比1百万円(31.4%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

		前連結会計年度	当第1四半期 連結累計期間	増減額
資産	流動資産	22,675	21,427	△1,247
	(内、現金及び預金)	(13,454)	(14,152)	(697)
	固定資産	32,606	31,244	△1,362
合計		55,281	52,671	△2,609
負債	流動負債	9,325	8,721	△603
	固定負債	13,065	12,866	△199
	合計	22,390	21,588	△802
(内、借入金(社債含む))		(11,309)	(10,989)	(△320)
純資産合計		32,891	31,083	△1,807
負債・純資産合計		55,281	52,671	△2,609

①資産

資産合計は526億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億9百万円(4.7%)の減少となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金並びに商品及び製品の減少などによる流動資産の減少12億47百万円(5.5%)、並びに有形固定資産の減少などによる固定資産の減少13億62百万円(4.2%)によるものであります。

②負債

負債合計は215億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億2百万円(3.6%)の減少となりました。主な要因は、短期借入金の減少などによる流動負債の減少6億3百万円(6.5%)によるものであります。

③純資産

純資産合計は310億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億7百万円(5.5%)の減少となりました。主な要因は、当四半期純損失の計上及び配当金の支払いによる株主資本の減少9億67百万円(3.3%)、並びに為替換

算調整勘定の減少などによるその他の包括利益累計額の減少8億42百万円(25.6%)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表しました業績予想数値に変更はございません。業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は、軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,454	14,152
受取手形及び売掛金	4,828	3,867
商品及び製品	1,693	932
仕掛品	341	128
原材料及び貯蔵品	880	870
その他	1,477	1,476
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	22,675	21,427
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	7,270	6,822
土地	10,823	10,528
その他(純額)	4,959	4,857
有形固定資産合計	23,053	22,207
無形固定資産		
のれん	4,473	4,295
その他	1,348	1,306
無形固定資産合計	5,822	5,602
投資その他の資産		
投資有価証券	2,422	2,281
長期貸付金	880	827
その他	700	590
貸倒引当金	△272	△265
投資その他の資産合計	3,730	3,433
固定資産合計	32,606	31,244
資産合計	55,281	52,671
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,969	1,887
短期借入金	3,303	2,820
未払法人税等	284	283
賞与引当金	234	232
災害損失引当金	—	95
その他	3,533	3,402
流動負債合計	9,325	8,721
固定負債		
社債	45	45
長期借入金	7,914	8,086
関係会社整理損失引当金	113	73
退職給付に係る負債	410	400
資産除去債務	1,441	1,433
その他	3,141	2,828
固定負債合計	13,065	12,866
負債合計	22,390	21,588

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,571	8,571
資本剰余金	6,219	6,219
利益剰余金	14,807	13,839
自己株式	△5	△5
株主資本合計	29,593	28,626
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	223	131
繰延ヘッジ損益	△0	△6
土地再評価差額金	1,761	1,601
為替換算調整勘定	1,305	720
その他の包括利益累計額合計	3,289	2,446
非支配株主持分	7	10
純資産合計	32,891	31,083
負債純資産合計	55,281	52,671

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	14,736	11,438
売上原価	13,644	10,328
売上総利益	1,091	1,110
販売費及び一般管理費		
人件費	377	518
福利厚生費	73	107
減価償却費	20	27
業務委託費	20	27
その他	421	664
販売費及び一般管理費合計	913	1,344
営業利益又は営業損失(△)	178	△234
営業外収益		
受取利息	65	54
受取配当金	16	16
持分法による投資利益	72	—
為替差益	187	—
補助金収入	23	23
その他	21	20
営業外収益合計	386	115
営業外費用		
支払利息	42	38
持分法による投資損失	—	10
為替差損	—	262
その他	6	6
営業外費用合計	49	317
経常利益又は経常損失(△)	515	△436
特別利益		
固定資産売却益	12	—
補助金収入	134	134
その他	0	—
特別利益合計	147	134
特別損失		
固定資産圧縮損	124	124
災害による損失	—	※ 195
その他	13	—
特別損失合計	137	320
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	525	△622
法人税、住民税及び事業税	168	170
法人税等調整額	△25	△222
法人税等合計	142	△52
四半期純利益又は四半期純損失(△)	382	△570
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	2
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	380	△572

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	382	△570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	△91
繰延ヘッジ損益	△25	△6
為替換算調整勘定	△1,385	△584
その他の包括利益合計	△1,375	△682
四半期包括利益	△993	△1,252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△995	△1,255
非支配株主に係る四半期包括利益	2	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※災害による損失

「平成28年熊本地震」により被害を受けた損失額であり、その主な内容は以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
固定資産修繕費等	一百万円	100百万円
災害損失引当金繰入額	— 〃	95 〃
計	一百万円	195百万円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

該当事項はありません。